

GIS NEWS LETTER

地理情報システム学会ニュースレター

第113号

発行日 ● 2020年3月25日
発行 ● 一般社団法人 地理情報システム学会

目次

2020年度 GISA学会賞募集 ----- 1p
G空間Expoでの毛利衛氏との会話 ----- 1p
学会からのお知らせ ----- 1p

【2020年度 GISA学会賞募集】

【学会賞委員会委員長 阪田 知彦】

2020年度地理情報システム学会賞の募集を行います。
昨年度より下記の6部門になりました地理情報システム学会賞の応募資格および提出物の内容、受賞者選考・決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。

<http://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

募集部門：

「研究奨励部門」（本年3月末日時点で35歳以下の者）
「学術論文部門」

「ソフトウェア・データ部門」

「教育部門」

「実践部門」（昨年度より募集開始）

「著作部門」

応募期限：2020年7月15日（水）

提出先：地理情報システム学会事務局

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。

選考結果は、9月末日までに応募者各位にご連絡いたします。

また、受賞者は、本年10月に電気通信大学にて開催される第29回研究発表大会で表彰されます。

【G空間Expoでの毛利衛氏との会話】

【小口 高】



毎年開催されているG空間Expoは、地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の実現へ向けて産学官が連携し、地理空間情報と衛星測位の利活用を推進する場とされています。地理情報システム学会は、G空間Expoで学界の代表と位置づけられています。たとえば2019年のG空間Expoの開会式では7名がテープカットを行い、開催場所である日本科学未来館の毛利衛館長の他に、（公社）日本測量協会、

の代表と位置づけられています。たとえば2019年のG空間Expoの開会式では7名がテープカットを行い、開催場所である日本科学未来館の毛利衛館長の他に、（公社）日本測量協会、

分科会報告 ----- 2p
学会後援行事等のお知らせ ----- 3p
事務局からのお知らせ ----- 3p

（一財）衛星測位利用推進センター、国土交通省、国土交通省国土地理院、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、および当学会の代表者が壇上に立ちました。私は2018年と2019年には当学会の会長として開会式に参加し、2016年にも所用で参加できなかった玉川英則前会長の代理として当時副会長の私が参加いたしました。

開会式の前にはテープカットに参加する7名が面会します。2016年には、毛利館長とは挨拶と名刺交換をただけでしたが、2018年には面会時の席が近かったので、「館長が宇宙飛行士としてスペースシャトルで取得した地形データを研究に使っています」と話してみました。これは2000年のSRTMと呼ばれるミッションの件で、レーダーにより地球の陸地の大半をカバーする解像度約30mのDEM（数値標高モデル）が構築されました。毛利館長は、「当時のスペースシャトルのミッションは、大半が国際宇宙ステーション（ISS）を拡充・整備するためのものだったが、私は学者なので科学的な内容の回に参加したかった。そこでSRTMへの参加を希望した」と語られました。さらに、「レーダーによる測量の原理は、自身の物理学の研究テーマと関連する」とも語られました。私は、世界中の地形学の研究者がデータを有効活用していることを伝えました。

2019年に毛利館長に再度挨拶すると、以前に会ったことを憶えていてくださいました。

開会式の後には写真撮影にも応じて頂き、和田陽一会員が写真を撮ってくださいました。良い思い出になりました。

【学会からのお知らせ】

■ 『GIS-理論と応用』購読によるCPDポイントの付与について

HP上やメールニュースで既にご案内のとおり、「研究誌購読」についても測量CPD学習ポイントが付与できることになりました。

証明証の発行については、事務局まで本年3月31日（火）までにお問い合わせください。

■ お詫びと訂正

2019年12月発行の学会誌『GIS-理論と応用』(27-2)の背表紙に誤記がありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正いたします。

（正）December 2019 ←（誤）June 2019

■ 2020 年度一般社団法人地理情報システム学会定時 社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。
日時：2020 年 5 月 16 日（土）16：30～18：00（予定）
場所：慶應義塾大学 研究棟 会議室 A
東京都港区三田 2 丁目 15-45
代議員以外の方で出席をご希望の方は、5 月 15 日（金）正午までに、事務局までご連絡ください。総会当日、資料をお渡しいたします。

■ JpGU-AGU Joint Meeting 2020

会期： 2020 年 5 月 24 日（日）～28 日（木）
会場： 幕張メッセ
早期参加登録： 5 月 8 日（金）23:59 まで
詳しくは… http://www.jpgu.org/meeting_j2020/
なお、当学会関連セッションは以下のとおりです。
●5 月 28 日（木）午前
H-TT19 「地理情報システムと地図・空間表現」
●5 月 28 日（木）午後：
H-TT14 「Geographic Information Systems and
Cartography」
※ポスターセッションはいずれも 28 日（木）午後

■ 2020 年第 5 回 IAG' i シンポジウム

会期： 2020 年 6 月 21 日（日）～24 日（水）
ISEO&SI 2020 内での開催
会場： 国立中央大学（台湾・桃園市）
発表希望者は、学会 HP からお申し込みください。
詳しくは…
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfCmoIi4I-XLwrizHXgGLt810kZ9nYgCN86D68jUhxtR9DgBA/viewform>

■ 2020 年度学術研究発表大会のご案内 《予定》

2020 年度地理情報システム学会研究発表大会は、10 月 24 日（土）、25 日（日）の両日、電気通信大学（東京）にて開催予定です。
発表申し込みの手続き方法など詳細は、決まり次第、メールニュースや HP でご案内いたします。

（発表申込スケジュール：予定）

アブストラクト提出：

7 月 1 日（水）～7 月 15 日（水）正午

講演論文集用原稿提出：

7 月 1 日（水）～8 月 31 日（月）正午

なお、学術研究発表大会における託児室開設も計画しております。大会の開催期間中、発表会場のキャンパス内で、ベビーシッターに任せる形となる予定です。詳細や正式な申し込みについては、決まり次第、HP や次号ニュースレターでお知らせする予定ですが、お預かりするお子様の人数や年齢によって料金が変わりますので、まずは、おおよその利用希望人数の把握をさせて頂きたいと思います。ご利用を希望また

は検討される方、ご質問等は、4 月 24 日（金）までに事務局へメールでご連絡ください。

■ 2020 年度初等中等教育における GIS を活用した 授業に係る優良事例表彰について（予告）

2020 年度も表記の表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下の URL でご確認ください。2017 年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<http://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間：

2020 年 7 月 1 日（水）～8 月 31 日（月）17:00 必着
表彰（原則各 1 点以内）：

国土交通大臣賞（総合的な観点）

地理情報システム学会賞（GIS の効果的な活用の観点）

日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）

主催・共催・協賛など（予定を含む）：

主催：一般社団法人地理情報システム学会

後援：国土交通省国土政策局、

一般財団法人日本地図センター、

一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、

公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社

協賛：ESRI ジャパン株式会社

選定された個人またはグループの代表には、本年 10 月に電気通信大学（東京）にて開催される「第 29 回地理情報システム学会学術研究発表大会」内で表彰式を執り行うとともに、事例発表もしていただくことを予定しています。なお、事例発表者の旅費等については主催者側で全部または一部を負担する予定です。

【分科会報告】

■ 若手分科会

【桐村 喬・相 尚寿】

＜若手会員意識調査の協力御礼と学生フリーテーマ発表会のご案内＞

若手分科会では、昨年 10 月の大会時から 12 月までの約 2 か月間に、39 歳以下の若手会員に対する意識調査を実施しました。ご回答およびご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

40 名あまりの方々にご回答いただきましたので、若手分科会内のワーキンググループ（桐村喬、相尚寿、上杉昌也、薄井宏行、関口達也、米島万有子）において順次集計、分析を進めています。

結果の報告につきましては、本ニュースレターなどを通じて行っていく予定です。

また、若手分科会では今年の研究発表大会でも学生フリーテーマ発表会を企画する予定です。

発表者は現役学生限定、テーマ自由の発表会です。研究成果や進捗のほか、GIS を使った独自の取り組みなどをご発表ください。申し込み方法などは追って GIS 学会 HP などでご案内していくので、ぜひ発表をご検討ください。

学会後援行事等のお知らせ

■ 第16回 GIS コミュニティフォーラム（後援）

主催：ESRI ジャパンユーザ会

会期：2020年5月21日（木）～22日（金）

　　プレフォーラムセミナー：5月20日（水）

会場：東京ミッドタウン（六本木）

詳しくは…

<https://www.esrij.com/events/gcf/gcf2020/>
(4月上旬登録開始予定)

■ 空間情報シンポジウム 2020（共催）

主催：株式会社インフォマティクス

会期と会場：2020年7月8日（水）東京

　　7月15日（水）大阪

　　7月21日（火）名古屋

詳しくは… <http://www.informatix.co.jp/>

【事務局からのお知らせ】

■ 2020年度年会費納入のお願い

今号は、年会費納入方法が郵便振込の会員の方々に、2020年度分（2020年4月1日～2021年3月31日）年会費の郵便振込専用用紙を同封しております。納入期限は4月30日（木）です、お早めにお手続きください。

年会費は正会員10,000円、学生会員5,000円です。

期限に遅れますと、6月発行のニュースレター114号および『GIS-理論と応用 Vol. 28-No. 1』の送付が停止されるほか、ホームページの会員専用コンテンツの閲覧が出来なくなります。

なお、新年度から年会費の口座振替をご希望の方は、4月30日（木）までに、事務局に申込用紙をご請求ください。

■ 学生会員さんへ 学生証のコピー提出のお願い

4月以降も学生の方は、新年度に入ってから学生証のコピーを事務局までご提出ください。4月30日（木）必着、FAXまたはメール添付(jpgまたはpdf)でお願いします。学生会員の方には、別途、詳細を連絡済みですので、必ずご確認ください。

※コピーは「氏名」「発行者」「有効期限」が分かるように取ってください。

※コピーの余白に「学部生」「修士課程」「博士課程」の別を明記してください。

※2019年度に提出された方も、再度ご提出ください。事務局で確認後、以前のものは既にシュレッダー裁断しています。

※学生証が4月中に発行されない場合は、その旨、事務局までご連絡ください。

■ 年会費口座振替ご利用の方へのお願い

2020年度分（2020年4月1日～2021年3月31日）年会費の口座引き落とし日は6月29日（月）です。口座残高のご確認をお願いいたします。

年会費は正会員9,000円、学生会員4,000円です。

■ 会員登録変更・退会等について（既報）

現在の会員登録の状況は、学会ホームページの会員専用ページから、ご自分で確認・変更することが出来ます。

<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

なお、学会web等で既にご案内のとおり、退会を希望される場合は確認事項がありますので、まずは事務局までご連絡ください。年度は毎年、4月1日から翌年3月末日までです。2019年度一杯で退会希望の方は、2020年3月末日までに手続き完了が必要です。（2020年4月1日から、新年度の学会費が発生します）

■ メールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会では個人会員を対象に、メールニュースを配信しています。

内容は学会からのお知らせ、関連イベント、公募情報が主ですが、こちらに掲載をご希望の方は、以下の「お送りいただく情報」をご参照の上、事務局までお申し込み下さい。

（ホームページ上でもご案内しております。）

<http://www.gisa-japan.org/news/request.html?id=02>

なお、ニュースの配信は、毎月第2・第4金曜日を日安にしています。

＜お送りいただく情報＞

イベントの場合

- ・イベント名
- ・URL
- ・日時（年は西暦/時間は24時間表記）
- ・会場名
- ・主催

お知らせの場合

- ・タイトル
- ・URL
- ・内容は200文字程度

公募の場合

公募情報の依頼が出来るのは、賛助会員と教育関係の方だけです。

- ・タイトル
- ・概要、分野
- ・機関名
- ・所属
- ・職名
- ・URL（詳細情報）

■ 会議の場所をご提供します

分科会(SIG)、委員会、支部など、学会活動に関することでの会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の10:00～17:00

注意：インターネットのご利用は出来ません

2020年2月末現在の個人会員 1096名、 賛助会員 53社

賛助会員

アクリーク(株), 朝日航洋(株), アジア航測(株), アドソル日進(株), いであ(株), (株)インフォマティクス, ESRI ジャパン(株), NTT タウンページ(株), 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術(株), 大阪土地家屋調査士会, (株)かんこう, 関東甲信越東海GIS技術研究会, (財)岐阜県建設研究センター, 九州GIS技術研究会, 近畿北陸G空間情報技術研究会, (株)こうそく, 国際航業(株), 国土情報開発(株), (株)古今書院, GIS総合研究所いばらき, ジェイアール西日本コンサルタンツ(株), (株)ジオテクノ関西, (株)昭文社, (株)ゼンリン, (株)ゼンリンジオインテリジェンス, (株)谷澤総合鑑定所, 玉野総合コンサルタント(株), 中四国GIS技術研究会, デジタル北海道研究会, 東北GIS技術研究会, (株)ドーン, 長野県GIS協会, にいがたGIS協議会, 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパーマップ(株), (財)日本測量調査技術協会, (財)日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ(株), (株)パスコ, 阪神高速技研(株), 東日本総合計画(株), 北海道GIS技術研究会, (株)マップクエスト, (株)松本コンサルタント, 三菱電機(株), 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株), (財)リモート・センシング技術センター
自治体会員: 経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, (独)統計センター, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- 自治体: 小泉和仄 (千葉県浦安市)
事務局: 青木和人 (あおきgis研究所)
Tel: 050-5850-3290
E-mail: kazu013057@gmail.com
- ビジネス: 高阪宏行 (地理情報技術研究所)
Tel: 03-5379-5601
E-mail: kohsaka@npo-giti.com
- 防災GIS: 畑山満則 (京都大学防災研究所)
Tel: 0774-38-4333
E-mail: hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
- 時空間GIS: 吉川耕司 (大阪産業大学)
Tel: 072-875-3001
E-mail: yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp

- 地図・空間表現: 若林芳樹 (首都大学東京)
Tel: 042-677-2601
E-mail: wakaba@tmu.ac.jp
- FOSS4G: Venkatesh Raghavan (大阪市立大学)
連絡先: 嘉山陽一 (朝日航洋株)
Tel: 049-244-4032
E-mail: youichi-kayama@aeroasahi.co.jp
- 若手分科会: 相尚寿 (東京大学)
Tel: 04-7136-4302
E-mail: hisaai@csis.u-tokyo.ac.jp
- IoTとGIS: 巖網林 (慶應義塾大学)
Tel: 0466-49-3435
E-mail: yan@sfc.keio.ac.jp

地方支部の連絡先一覧

<北海道支部>
支部長: 株式会社ドーコン 三好達也
連絡先: NPO 法人 Digital 北海道研究会 (内)
Tel: 011-299-8104, E-mail: gisahokkaido@dghok.com
<東北支部>
支部長: 東北大学 井上亮
Tel: 022-795-7478, E-mail: rinoue@tohoku.ac.jp
<中部支部>
支部長: 中部大学 福井弘道
連絡先: 杉田暁 (中部大学)
Tel: 0568-51-9894 (内線 5714)
E-mail: satoru@isc.chubu.ac.jp
<関西支部>
支部長: 大阪工業大学 吉川眞
連絡先: 田中一成 (大阪工業大学)
Tel: 06-6954-4293, E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp

<中国支部>
支部長: 広島修道大学 川瀬正樹
Tel: 082-830-1210, E-mail: kawase@shudo-u.ac.jp
<四国支部>
支部長: 愛媛大学 Netra Prakash Bhandary
Tel: 089-927-8566, E-mail: netra@ehime-u.ac.jp
<九州支部>
支部長: 九州大学 三谷泰浩
Tel: 092-802-3399, E-mail: gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
<沖縄支部>
支部長: 琉球大学 町田宗博
E-mail: machida@11.u-ryukyu.ac.jp
連絡先: 澤岐直彦 (NPO 法人沖縄地理情報システム協議会)
Tel: 098-863-7528, E-mail: takushi@nansei-m.co.jp

編集後記 ■

今号は、小口先生に無理を言って寄稿して頂きました。和田陽一さんの写真は、許可の関係で掲載が微妙でしたので、2バージョン作成しております。編集を行っている今日現在では、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に関して厚生労働省が「日本国内で急速に感染が拡大するかどうかの瀬戸際」という見解を出しています。デマや憶測に惑わされること無く行動し、早く収束に向かうことを望むばかりです。

さて、2012年頃から4期ほど担当させていただいておりました広報(NL担当)を、この号を持ちまして卒業することとなりました。GISA事務局の皆様にはいつもお世話になりっぱなしで、感謝してもしきれません(ちょっと大げさ)では、また何処かでお会いいたしましょう

谷口 彰 (GIS総研&応用技術)

地理情報システム学会ニュースレター

第113号 ●発行日 2020年3月25日

■発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: <http://www.gisa-japan.org/>

■ 弥生雑記 ■

講師を招き、六国史(神話時代から平安時代前期を漢文で記した正史)をゼミ形式で輪読している。道楽である。が、これがひょんなことから大学の公開講座となった。これで毎月格闘している担当箇所のレジュメ作成から解放されると喜んだのも束の間、講座は講師の授業と、輪読メンバーによる発表の、変則のゼミ形式だと聞かれる。

青くなった。講座の対象は一般の人だ。輪読メンバーの中で唯一、大学の教壇に立っていない私は、一般的の聴講生が、何が分かって何が分からないのかさえ、見当たらつかない。これまで人に教えぬ気楽さで、意味さえ取れれば良い、と、漢字の読みも適当にしてきた(音読み、訓読み以外に、呉音読み、漢音読み、有職読みなんていうのもある)。背筋に冷たいものが流れる。

開講までの3ヶ月、ある意味、卒業以来というくらい必死に勉強した。レジュメ以上に質疑応答の準備に万全を期したのだ。が、当日、聴講者から質問はひとつも出なかつた。ほっとすると同時に人知れず傷つく(皆さんにもご経験がおありかと)。アウトプットする知識はインプットした知識のごく一部だということを、久々に思い出した。かくて勉強は続く…(学会事務局)